

「外科では特に手術成績に影響」

富山労災病院

周術期口腔機能管理研修会を開催

富山労災病院では昨年十月、地域の歯科開業医と連携して、「がん患者の周術期口腔機能管理」を開始しました。本稿は、本年二月十九日に同病院で開催された「周術期」研修会の概要について紹介します。

この研修会は、富山労災

病院の医師や看護師を対象に、周術期の口腔ケアへの理解を広めるとともに、地域の歯科開業医の連携参加を促すことを目的に開催されました。

開会挨拶で角谷直孝医師

(消化器外科)は「口腔ケアは摂食・嚥下の機能回復や肺炎予防など重要な分野。我々外科としても、直接手術成績に影響することを感

じている」として、周術期の連携にたいする期待を述べた。

河合氏は、「(歯科の無い)病院は、地域の開業歯科医と連携することで、口

腔科の参加で病院内に口腔領域の専門的意見を

べました。続いて河合宏一歯科医師(公園通り歯科勤務医)が、前職の済生会富山病院において長年取り組んで来た入院患者にたいする口腔ケアの事例を交えて、講演を行いました。

その後、富山労災病院の宮島玲子看護師(がん化学療法看護認定看護師)が、「胃瘻増設患者であったも口腔ケアが重要なことがわかった」「医科・歯科が連携する意義が理解できた」

参加者アンケートで「周術期の連携は大変有用」

腔領域における専門的意見を導入することができる」と述べ、病院と歯科開業医の連携にエールを寄せました。

また、「義歯の有無が転倒リスクや起立に

影響があることに驚いた」「胃瘻増設患者であったも口腔ケアが重要なことがわかった」「医科・歯科が連携する意義が理解できた」

研修会終了後、河合氏による口腔ケアの実技研修が、病院看護師を対象に行なわれました。

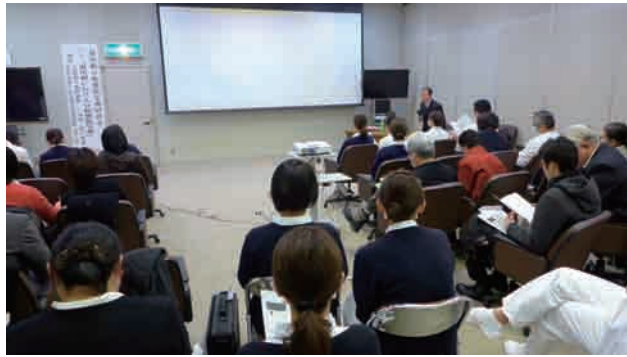


嚥性肺炎の予防などメリットが多いことを述べました。受け止められていることがわかりました。



左：周術期口腔管理への期待を語る角谷直孝医師

下：当日は院内外から62人の参加があった(会場：労災病院講堂)



がん化学療法看護認定看護師の立場から

がん化学療法の副作用である口腔粘膜炎症は、程度は薬剤、レジメンによってさまざまですが、40~70%の患者に出現します。その発症によるQOLの低下は、闘病意欲や治療継続にも関わって

症例A氏

治療する際は、血液検査の結果が重要になってきます。治療の経過からわかるように、Aさんは、抵抗力が落ちてる時や血止めの薬を飲む方が弱くなっていることもありました。だから担当の先生に相談しなれてほしいですね。すぐに打って来てほしいです。よはいいです。

痛みに耐える時は、がん剤の副作用を減らすことを伝えてください。

痛みに耐えられなくなったら、薬を飲んでもらうといいですね。

痛みに耐えられなくなったら、薬を飲んでもらうといいですね。

痛みに耐えられなくなったら、薬を飲んでもらうといいですね。

るので、がん治療の開始より口腔機能管理を積極的に導入していくべきです。

また、化学療法中の患者のみならず、高齢者においても口腔環境を良好に保つことで、誤嚥性肺炎などの予防になります。義歯等により良好な食事摂取が可能となり、患者の栄養状態が維持できます。これからも口腔機能管理の必要性を広めていきたいと思



報告する宮島看護師

-口腔粘膜炎をおこしやすいがん(疾患ごと)-	
疾患名	口腔有害事象の程度
肺がん	・口腔粘膜炎は少ない。 ・白血球減少による口腔感染症の発症が多い。
腸がん	・フルビドリン系薬剤(5FU、TS-1、セロゲマ)を多用しレジメンは多い。 ・5-FU+DDPは粘膜多量のマネジメンド剤(腫瘍増進剤に注意)
大腸がん	・FOLFIRI、FOLFIRIなど ・FOLFIRIは粘膜炎の発症は高く、重症化しやすい。 ・アパシリンやリドリンは、重症化には注意する。 ・アパシリン、ヘクチャピックス等投与時は、アパシリン投与に注意する。
乳がん	・アドリアシンがキートラックのレジメンは粘膜炎に注意する。 ・ビスフェスホネート製剤投与時に薬剤投与する。投与中は、症状の増悪を行う。
膵臓がん	・分子標的治療薬投与時は、粘膜炎に注意する。 ・ビスフェスホネート製剤投与時に薬剤投与する。投与中は、症状の増悪を行う。

2014 協会の接遇セミナー

接遇で高めよう あなたの人間力

～ 患者対応と接遇の基本 ～

接遇マナーインストラクター

講師 **鵜飼 昌子** 氏

参加費 **無料**
(会員医療機関に限ります)



- 高岡** 5/20 (火) ウイングウイング高岡 4Fホール
- 砺波** 5/21 (水) 砺波市・砺波平安閣 3F平安の間
- 富山** 5/22 (木) 富山市・ポルファートとやま
- 魚津** 5/23 (金) 魚津市・新川文化ホール 小ホール

開催時間はいずれも 午後7時～9時

患者さんが気持ちよく医療サービスを受けることができる。そんなフステキな職場にしていきたいませんか。接遇をきちんと行うことは、患者さんのためだけでなく、そこで働くあなた自身の人達とよい関係を作り、あなた自身が人間としての魅力を増していくことなのです。

2014 医療安全管理研修会

いざというときの救急蘇生法(仮)

～CPR用マネキン、AEDを使った実地訓練～

富山大学付属病院 災害救命センター診療教授

講師 **若杉 雅浩** 氏

参加費 **無料**
(会員医療機関に限ります)



- 高岡** 6/19 (木) ウイングウイング高岡
- 魚津** 6/20 (金) 魚津市・新川文化ホール
- 富山** 6/26 (木) 富山市・ポルファートとやま
- 砺波** 6/27 (金) 砺波市・砺波平安閣

開催時間はいずれも 午後7時～9時

今回の医療安全管理研修会は、「まさかの時に最低限これだけはしておきたい」をテーマに、レザシアン(訓練用人形)を使った二次救命処置の実地訓練を行います。「わかってはいるつもりだが、その場で実際に動けるだろうか?」と感じておられる先生、またスタッフの皆さんのご参加をお待ちしております。